

報道発表資料の配付日時 8月29日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和7年度大規模地震時医療活動訓練の実施について	
概要	<p>標記について、次のとおり開催しますのでお知らせします。</p> <p>1 日時(予定) 令和7年(2025年)9月5日(金) 11:00~17:00 9月6日(土) 7:00~16:00</p> <p>2 主な訓練場所 札幌市、室蘭市、函館市等</p> <p>3 参加機関 北海道、海上保安庁、自衛隊、医療機関(災害拠点病院、渡島・檜山・胆振・日高振興局管内の医療機関)、北海道エアポート(株)ほか ※渡島管内の主な参加医療機関 函館五稜郭病院、市立函館病院、八雲総合病院 ほか</p> <p>4 訓練概要 (1) 保健医療福祉調整本部の設置・運営訓練 (2) 北海道DMATの本部設置、DMATによる患者搬送実動訓練 (3) 人工透析患者の受入・搬送調整訓練 (4) 保健医療活動チームとの連携 災害時小児周産期リエゾン、災害支援ナース、災害薬事コーディネーター、DHEAT、DPAT (5) 他機関との連携(保健所、災害拠点病院、海上保安庁、自衛隊ほか) ※太字下線は、渡島管内において実動訓練として実施予定</p> <p>5 取材場所 (1) 北海道庁危機管理センター(札幌市) 取材可能日時: 9月5日(金) 15:50~16:20 (2) 製鉄記念室蘭病院(室蘭市) 取材可能日時: 9月6日(土) 9:00 ~ 16:00 (3) 函館五稜郭病院(函館市) 取材可能日時: 9月6日(土) 12:30~15:30</p>	
報道(取材)に当たってのお願い	<p>詳細については、別添「道内における令和7年度大規模地震時医療活動訓練の実施について」8「取材場所と連絡窓口について」をご参照ください。 取材を希望の場合は、9月2日(火)までに下記まで連絡をお願いします。 連絡先: 函館五稜郭病院 総務課 田中 TEL 0138-51-2295</p>	
他のクラブとの関係	同時配付	(場所) 道政記者クラブ 胆振総合振興局記者クラブ 日高振興局記者クラブ
担当(連絡先)	<p>保健福祉部地域医療推進局地域医療課 (担当者: 課長補佐 荒関) TEL 011-231-4111 (内線25-314) 011-204-5250 (ダイヤルイン) 渡島総合振興局保健環境部保健行政企画総務課 (担当: 課長 荒川) TEL 0138-47-9077 (ダイヤルイン)</p>	

道内における「令和7年度大規模地震時医療活動訓練」の実施について

令和7年8月

1 訓練の目的

被災地における医療活動や被災地内外での負傷者の搬送等について、毎年度、国や地方公共団体等の関係機関が連携して、組織体制の機能と実効性を検証するとともに、相互の協力の円滑化を図る。

2 主 催

内閣府

3 実施日時(予定)

令和7年9月5日(金) 11:00～17:30

9月6日(土) 7:00～16:00 ※各訓練項目により異なる

4 参加機関

北海道、海上保安庁、自衛隊、医療機関（災害拠点病院、渡島・檜山・胆振・日高振興局管内の医療機関）、北海道エアポート(株)ほか

5 訓練想定

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震(最大震度6弱)により、北海道、青森県、岩手県、宮城県に甚大な被害が発生と想定します。

6 訓練内容

項 目	主 な 内 容
■ 保健医療福祉調整本部	・ 本部設置運営、各種会議開催
■ DMAT、ドクターヘリ	・ 調整本部設置、医療救護、被災医療機関避難、病院籠城支援、患者搬送
■ 災害時小児周産期リエゾン	・ 本部設置等
■ 災害支援ナース	・ 派遣調整に係る連絡調整（机上訓練）
■ 災害薬事コーディネーター	・ 災害時医薬品確保、薬剤師派遣に係る連絡調整等
■ DHEAT	・ 道内DHEAT派遣調整（机上訓練）
■ 人工透析	・ 透析患者の受入・搬送調整（机上訓練）
■ DPAT	・ 調整本部設置、精神科病院支援活動
■ 福祉施設	・ 被災した所管施設支援に係る訓練（机上訓練）

7 その他

「大規模地震時医療活動訓練」は、内閣府が、「首都直下型地震」、「南海トラフ地震」又は、「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」を想定して、被災地となる関係地方公共団体等と連携し、DMATの参集、活動、広域医療搬送等の訓練を毎年度実施しており、本年度は、青森県、岩手県及び宮城県においても、同様の訓練を実施する予定です。

8 取材場所と連絡窓口

(1) 北海道庁地下1F危機管理センター（札幌市）

- ・ 訓練項目 保健医療福祉調整本部設置運営訓練
- ・ 取材可能時間 9月5日（金）15：50～16：20
※16：00頃に開催する調整本部会議の状況を取材頂けます。
※取材される場合は、15：45までに危機管理センター前にお集まりください。
- ・ 問い合わせ先 北海道保健福祉部総務課 田中
- ・ 電話番号 011-204-5242

(2) 製鉄記念室蘭病院（室蘭市）

- ・ 訓練項目 DMAT活動訓練等
- ・ 取材可能時間 9月6日（土）9：00～16：00
- ・ 問い合わせ先 経営企画課 佐々木
- ・ 電話番号 0143-47-4404

(3) 函館五稜郭病院（函館市）

- ・ 訓練項目 DMAT活動訓練等
- ・ 取材可能時間 9月6日（土）12：30～15：30
- ・ 問い合わせ先 総務課 田中
- ・ 電話番号 0138-51-2295

【留意事項】

- 取材をご希望の場合、9月2日（火）までにご連絡をお願いします。
- 取材時には、訓練の妨げにならないよう、現地担当者の指示に従ってください。
- 訓練中に、訓練参加者へのインタビューはご遠慮ください。
- 訓練全般に関するお問い合わせは、以下までお願いします。
 - ・ 北海道保健福祉部地域医療課（011-204-5250）



永田クラブ、経済研究会、国土交通記者会 へ公表

令和7年8月29日
内閣府政策統括官(防災担当)

令和7年度大規模地震時医療活動訓練について

大規模地震が起きたときには、多数の負傷者の発生が想定されます。

そのため、被災地における医療活動や被災地内外での負傷者の搬送等について、毎年度、国や地方公共団体等の関係機関が連携して、組織体制の機能と実効性を検証するとともに、相互の協力の円滑化を図るための訓練を行っています。

今年度は、以下のとおり、総合的な実動訓練を実施します。

1 訓練の概要（別紙参照）

実施日：令和7年9月5日（金）・6日（土）

訓練想定：日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震により、北海道、青森県、岩手県、宮城県に甚大な被害が発生

参加機関等：内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省（DMAT事務局含む）、国土交通省、海上保安庁、防衛省
国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本赤十字社、東日本高速道路株式会社
北海道、青森県、岩手県、宮城県、石川県 等

2 主な訓練項目

（1）DMATの参集・活動訓練

- ・ 本部の設置・運営、各被災道県への配分等の図上訓練
- ・ 参集、地域医療搬送、医療活動等の実動訓練など

※ DMAT：Disaster Medical Assistance Team、災害派遣医療チーム。

大地震等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行う、厚生労働省の認めた専門的な研修・訓練を受けた災害派遣医療チーム。

（2）地域医療活動訓練

- ・ 北海道、青森県、岩手県、宮城県それぞれで実施
- ・ 保健医療福祉調整本部の設置・運営や地域医療搬送訓練など

※ 地域医療搬送：地方公共団体や病院が、各防災関係機関の協力を得て、ヘリコプター、救急車等により患者を搬送する医療搬送（県境を越えるものを含み、広域医療搬送（後述）を除く。）。

(3) 広域医療搬送訓練

- ・ 対象患者を被災地内SCUから被災地外SCUへ航空搬送

※ 広域医療搬送：国が各機関の協力の下、自衛隊等の航空機を用いて、患者を被災地内の航空搬送拠点から被災地外の航空搬送拠点まで航空搬送する医療搬送。

※ SCU：Staging Care Unit、航空搬送拠点臨時医療施設。

患者を航空機で搬送するために、症状の安定化を図り、搬送を実施するための救護所として、被災地及び被災地外の航空搬送拠点に設置される施設。

3 問合せについて

(1) 問合せは、次の区分により、それぞれ下記の問合せ先へお願いします。

① 訓練概要のうち

- ・ DMATの訓練内容等： 厚生労働省DMAT事務局
- ・ 各道県の訓練内容等： 各道県担当課室
- ・ 広域医療搬送の訓練内容等： 内閣府政策統括官（防災担当）付

② 大規模災害時の医療体制・制度等： 厚生労働省医政局地域医療計画課

③ その他： 内閣府政策統括官（防災担当）付

(2) 取材

- ・ 訓練実施日における訓練実施場所（各道県等が取材可能とした場所に限り、取材については、原則として入場登録等が必要です（自衛隊施設内での取材はできません。）。
- ・ 登録手続等については、各道県担当課又はDMAT事務局にお問い合わせください。
- ・ 取材時には、訓練の妨げにならないよう、現地担当者の指示に従ってください。

<問合せ先>

- 1 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（訓練・人材育成担当）付
楮本 元 （電話 03-5797-7556）
- 2 厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室
赤星 昂己 （電話 03-3595-2185）
- 3 厚生労働省DMAT事務局
（国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局DMAT事務局）
市原 正行 （電話 03-6233-7173）
- 4 北海道保健福祉部地域医療課（電話 011-204-5250）
- 5 青森県健康医療福祉部医療薬務課（電話 017-734-9287）
健康医療福祉政策課（電話 017-734-9276）
- 6 岩手県保健福祉部医療政策室（電話 019-629-5415）
- 7 宮城県保健福祉部医療政策課（電話 022-211-2622）

北海道の訓練概要

○訓練日時

- ・令和7年9月5日(金) 11時00分～17時00分(予定)
- ・令和7年9月6日(土) 7時00分～16時00分(予定)

○訓練場所

- ・札幌市内及び函館市内を主に日本海溝・千島海溝沿いの一部市町村内

○訓練想定

- ・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震(道内最大震度6弱)
※地震により渡島から日高までの太平洋沿岸地域の津波浸水による甚大な被害を想定

○訓練概要

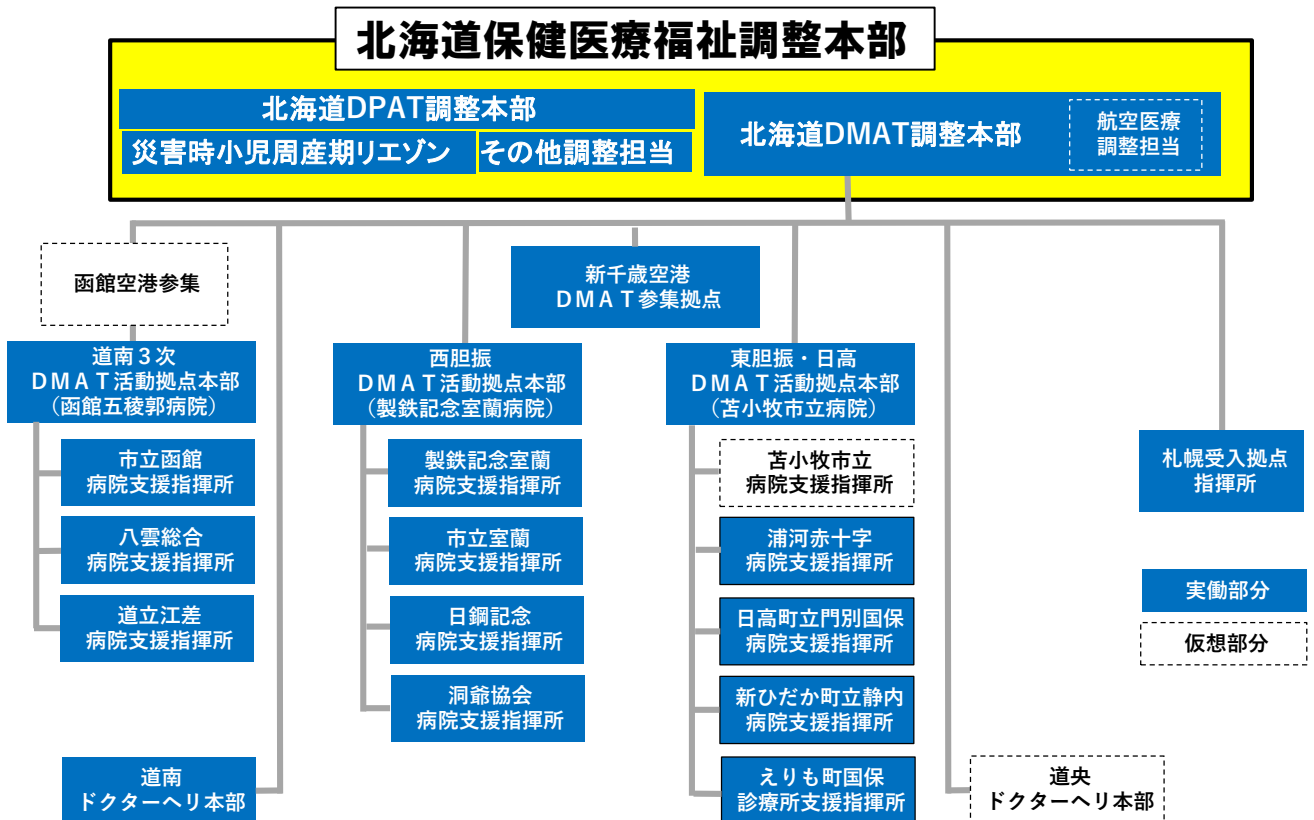
- ・北海道保健医療福祉調整本部の設置運営訓練
- ・北海道DMATの本部設置・DMATによる患者搬送実動訓練
- ・人工透析患者の受入・搬送調整訓練
- ・保健医療活動チームとの連携(災害時小児周産期リエゾン、災害支援ナース、災害薬事コーディネーター、DHEAT、DPAT)
- ・他機関との連携(保健所、災害拠点病院、海上保安庁、自衛隊)

○訓練参加機関

- ・北海道、災害拠点病院、海上保安庁、自衛隊、医療機関(渡島・檜山・胆振・日高振興局管内)、北海道エアポート(株)など

取材に関する問い合わせ先
北海道保健福祉部地域医療課
TEL : 011-204-5250

指揮系統図(DMATを中心に記載)



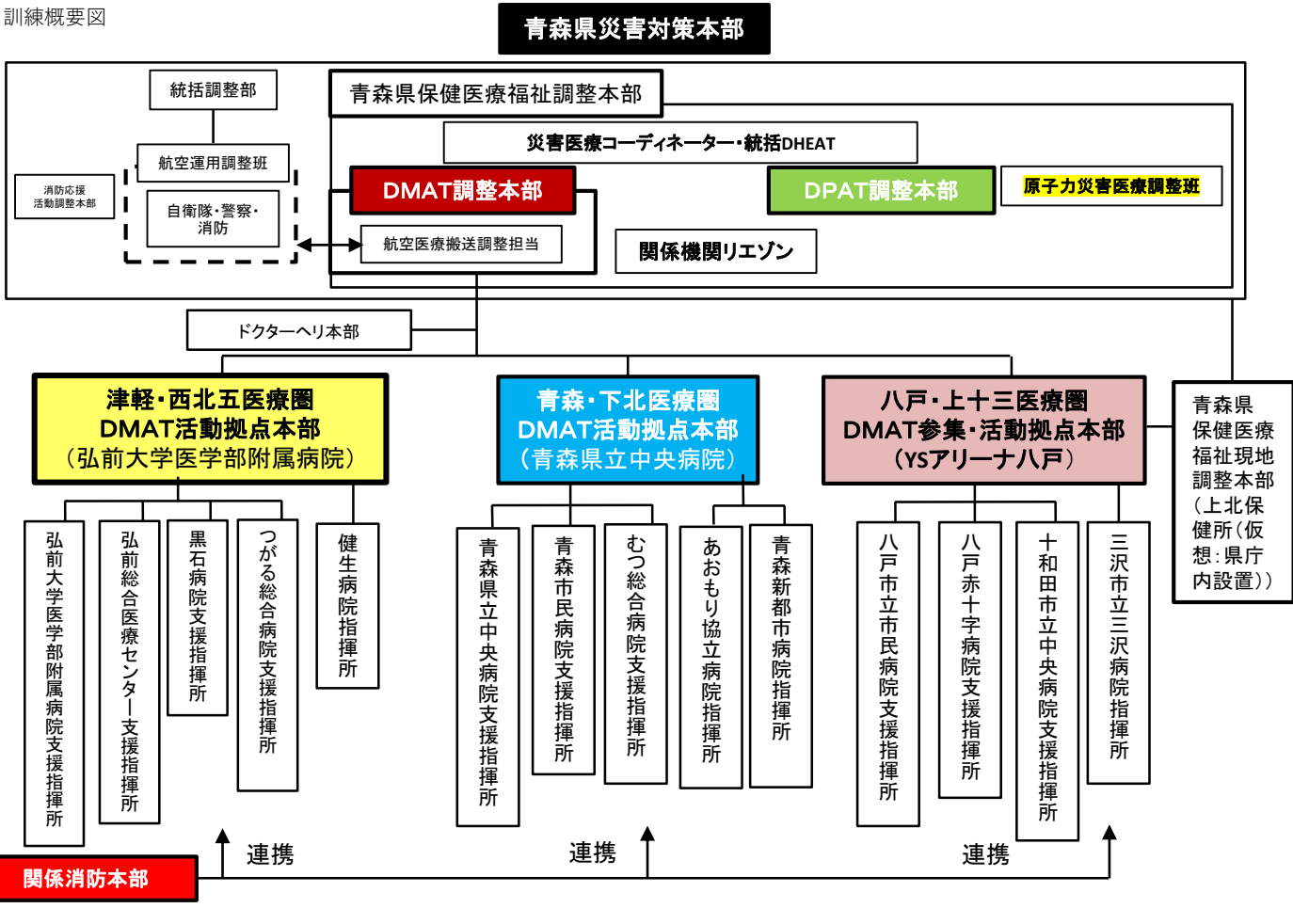
青森県の訓練概要（1/2）

- 日時：令和7年9月5日（金）11時00分～9月6日（土）17時00分（予定）
- 場所：青森県庁、県内災害拠点病院、県内災害拠点精神科病院、訓練参加一般病院、YSアリーナ八戸、高速道路SA 等
- 訓練想定：青森県東方沖地震（最大震度6強を想定）
- 訓練概要：保健医療福祉調整本部等設置・運営訓練、DMAT参集・活動訓練（ロジスティクス訓練）、DPAT参集・活動訓練、避難所支援訓練、社会福祉施設関係訓練、国際医療チーム受援実働訓練、原子力災害医療訓練
- 訓練参加機関：青森県薬剤師会、青森県薬剤卸協会、青森県看護協会、青森県介護支援専門員協会、日本赤十字社青森県支部、災害時小児周産期リエゾン、青森県社会福祉協議会、青森県栄養士会、青森県臨床検査技師会、青森県臨床工学技士会、青い森J R A T、青森D W A T、中日本航空株式会社、朝日航洋、陸上自衛隊、防災ヘリ、青森県警、県内消防本部、災害協定締結団体・事業者、国際医療チーム、原子力規制庁、東北電力株式会社青森支店、JR東日本、国立防災科学技術研究所、芝浦工大、ウェザーニューズ、ソフトバンク、サイエンスアーツ、京セラ、帝人、エアウォーター 等

取材等に関する問い合わせ先

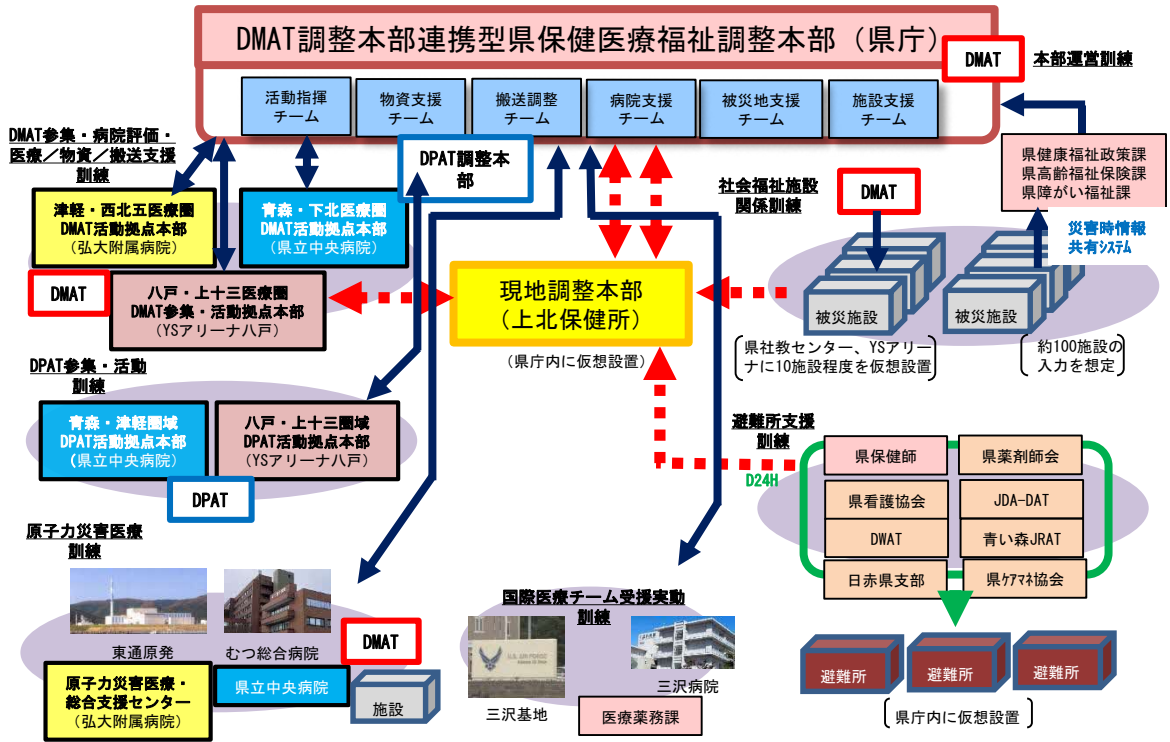
青森県健康医療福祉部 医療薬務課 TEL：017-734-9287
健康医療福祉政策課 TEL：017-734-9276

訓練概要図



青森県の訓練概要 (2/2)

(各訓練と調整本部の体制)

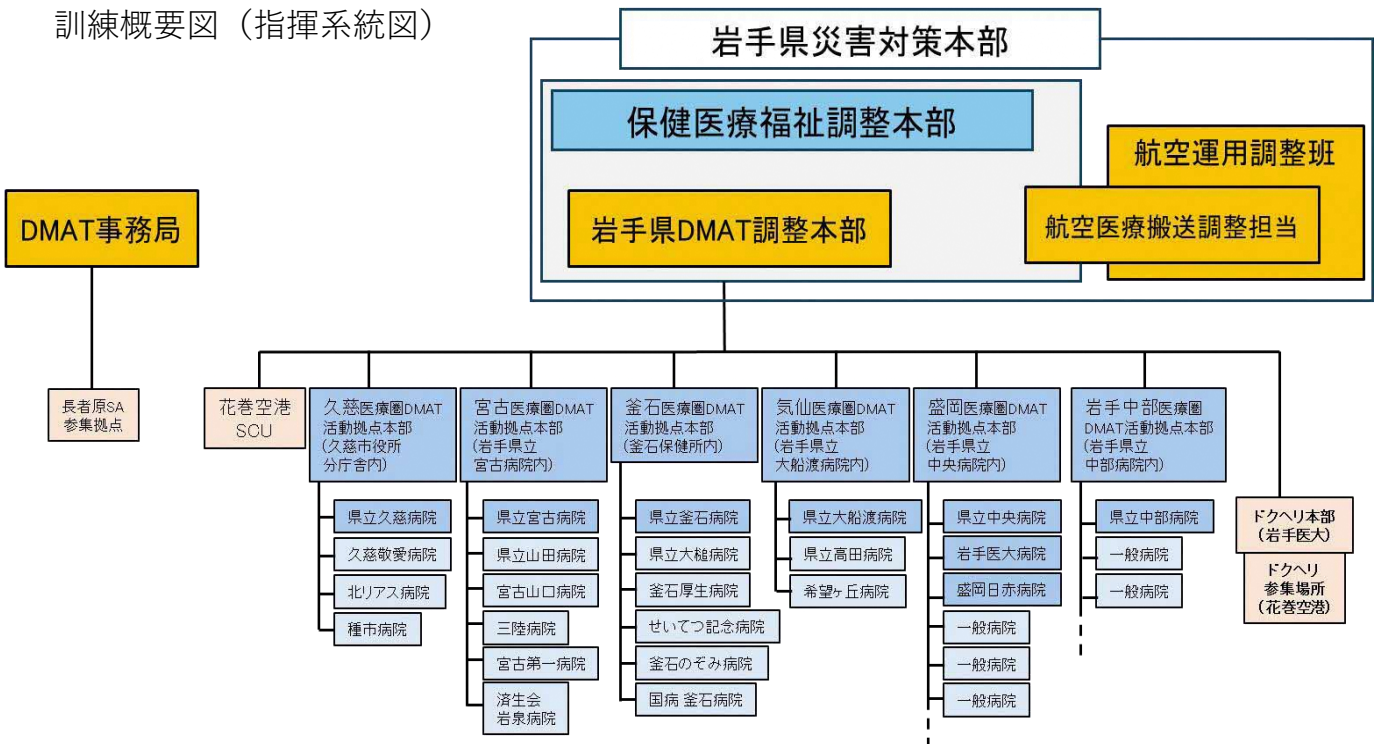


岩手県の訓練概要

- 日時：令和7年9月6日（土）8時00分～17時00分（予定）
- 場所：岩手県庁、花巻空港（花巻市交流会館）、災害拠点病院、訓練参加病院、訓練参加社会福祉施設、釜石保健所、久慈市役所分庁舎、高速道路SA（宮城県長者原、岩手県岩手山） 等
- 訓練想定：日本海溝地震（県内最大震度6強）
- 訓練概要：県DMAT調整本部（保健医療福祉調整本部）設置・運営訓練、DMAT活動拠点本部設置・運営訓練、SCU設置・運営訓練、ドクターヘリ訓練、社会福祉施設訓練、各ロジスティクス訓練 等
- 訓練参加機関：岩手県庁、保健所、市町村（久慈市、宮古市）、消防本部、災害医療コーディネーター、災害拠点病院、訓練参加一般病院、訓練参加社会福祉施設、県医師会（JMAT）、県看護協会（災害支援ナース）、DHEAT、DWAT、DPAT、小児・周産期リエゾン、県薬剤師会、陸上自衛隊東北方面総監部、中日本航空(株)、防災航空隊、釜石海上保安部、いわて腎不全研究会、各協定締結事業者 等

取材等に関する問い合わせ先
 岩手県保健福祉部医療政策室
 TEL：019-629-5415

訓練概要図（指揮系統図）



DMAT事務局の訓練概要

○訓練日程：

- 9月5日（金）11時～：DMAT事務局及び被災地内のDMAT本部の設置、参集
DMATの各被災都道府県への配分等の連絡調整を図上訓練として実施
- 9月6日（土）終日：DMATが被災地に参集し、被災地想定之都道府県庁での本部活動、災害拠点病院等での医療活動等を実動訓練、図上訓練を組み合わせる実施。

○DMAT事務局の訓練場所：

- 国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局DMAT事務局（東京都新宿区）

○訓練想定：

- 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震

○訓練の目的：

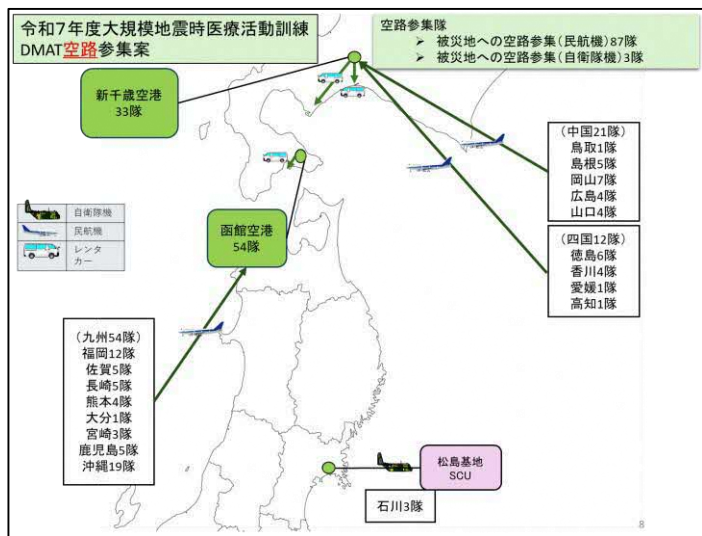
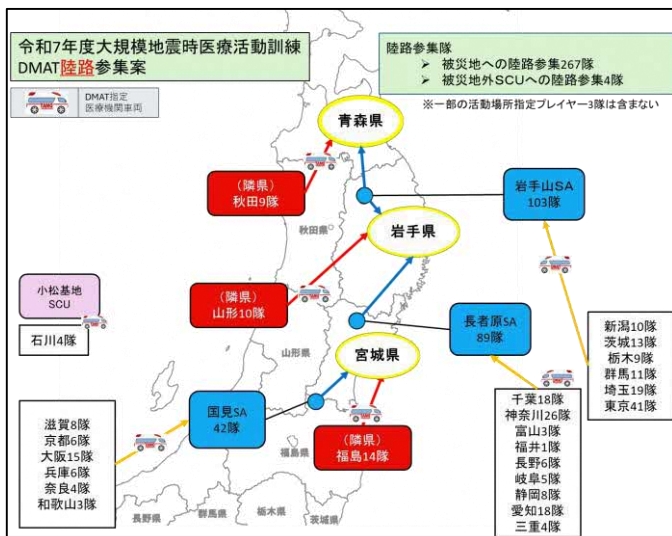
- 大規模災害への対応能力向上のため、DMATの組織的な運用を検証
- DMATの参集とニーズに応じた被災地への配分
- 被災地から被災地外への傷病者の医療搬送

○訓練概要：

- 必要なDMAT本部の設置と運営
 - DMATの参集拠点への参集
 - DMAT本部及びDMATによる医療機関の調査、被害状況把握
 - 広域災害救急医療情報システム(EMIS)による医療機関の被害状況共有
 - 医療機関への必要な支援活動実施
 - 衛星電話・衛星回線・無線等の通信機器の活用
 - 各地域の実情に応じ、現場活動、地域医療搬送、SCU、機内活動等を適宜組み合わせる実施
 - 必要な関連機関との連携訓練の実施
- 訓練参加機関：
- 被災地内の医療機関：約70施設（災害拠点病院、DMAT指定医療機関等）
 - 被災地外から参集、支援活動を行うDMAT361隊（約1,700名のDMAT隊員）
 - 訓練コントローラー約400名（DMATコーディネーター等）

○DMATの被災地への参集方法

- 東北、関東、中部、近畿ブロック：陸路
- 中国、四国、九州・沖縄ブロック：空路（民航機利用）
- 石川県のDMAT 3隊が小松基地から自衛隊機により松島基地に参集

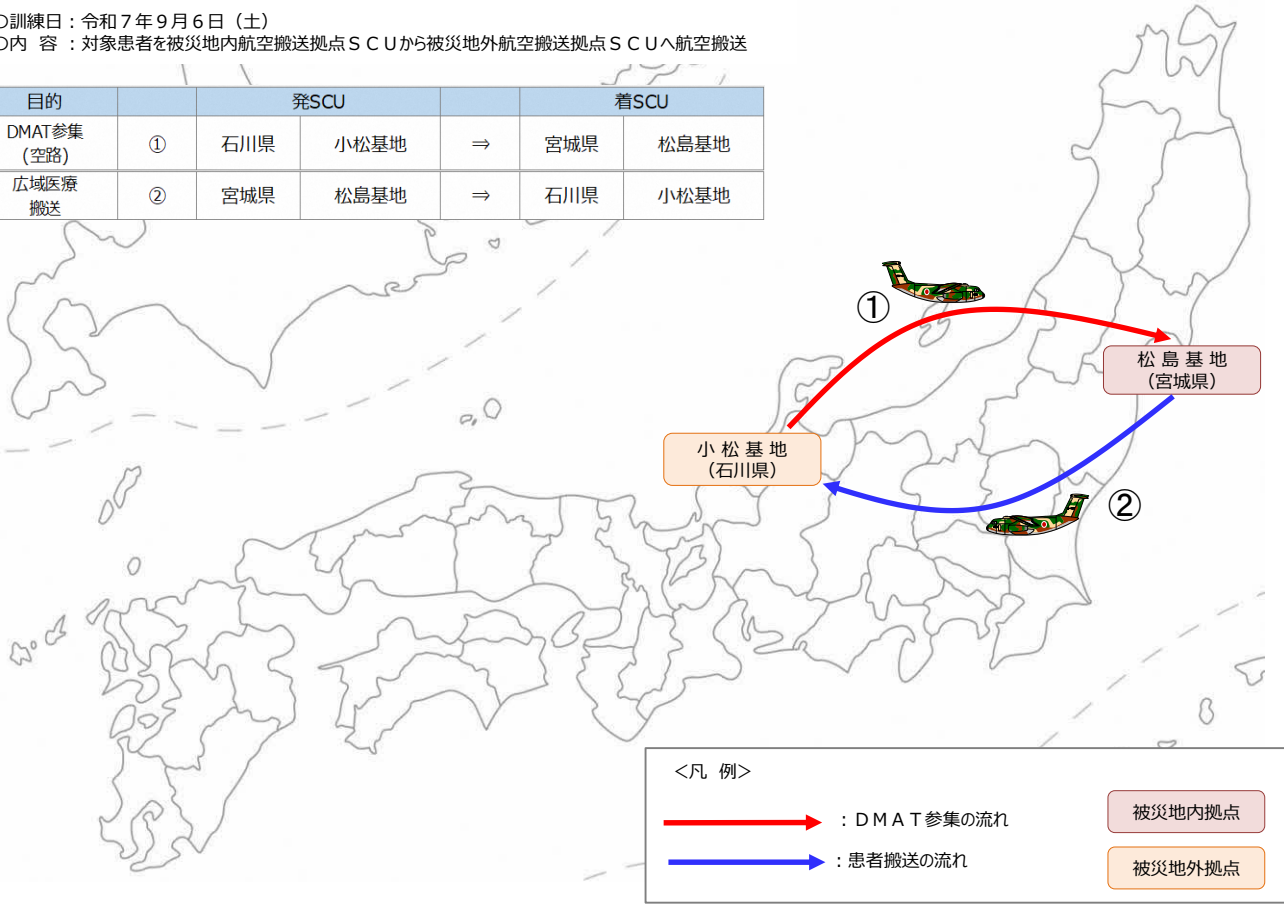


広域医療搬送訓練

○訓練日：令和7年9月6日（土）

○内 容：対象患者を被災地内航空搬送拠点SCUから被災地外航空搬送拠点SCUへ航空搬送

目的	発SCU	着SCU		発SCU	着SCU
DMAT参集 (空路)	①	石川県 小松基地	⇒	宮城県 松島基地	
広域医療 搬送	②	宮城県 松島基地	⇒	石川県 小松基地	



<凡 例>

- : DMAT 参集の流れ
- : 患者搬送の流れ

被災地内拠点

被災地外拠点